



2020年11月09日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース 26号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

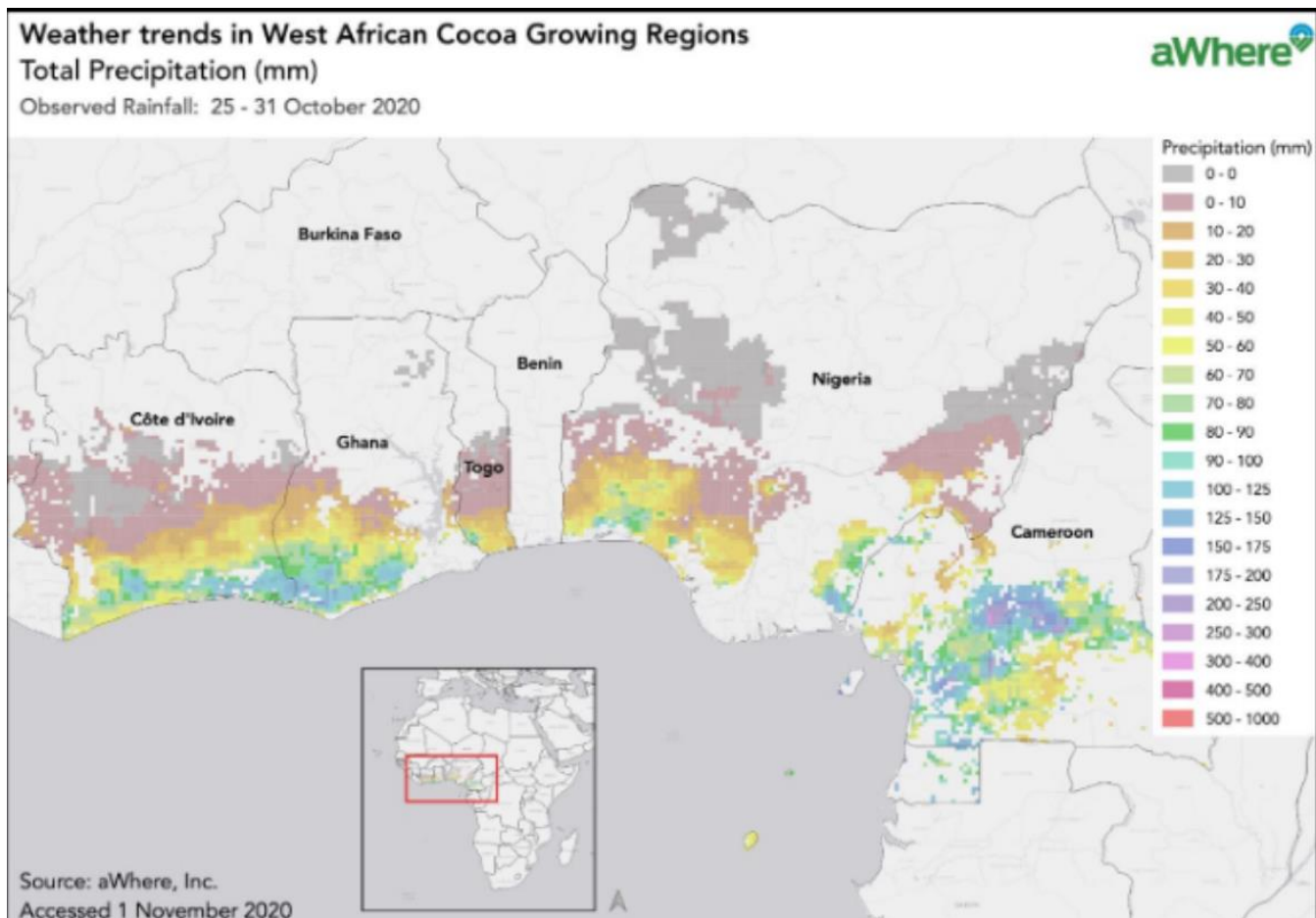
### 1. アフリカカカオ：コートジボワールが好天に恵まれていたカカオの収穫を遅らせる(11/3)

先週はコートジボワール全体が好天に恵まれカカオの生育が順調に進んだにも関わらず、カカオの収穫は大統領選挙の影響でほとんど活動が見られなかった。

西部のカカオ農家は、「今週は理想的な降雨と日照りがあって、農園には沢山のカカオポッドが収穫できる状態になっている」と話した。一方で「仲買人は今週は選挙の影響でだれも村まで来ないよ。」と嘆いた。

隣国のガーナでは先週は乾燥が長く続いたが、土壌に含まれた水分がまだ豊富でカカオの花の結実を進めているとウエスタン州の Jomoro 地区のカカオ農家は話した。

10月26～11月1日までの1週間の西アフリカの降水量 \*地図の出典：aWhere。



・カメルーンは大雨による交通遮断

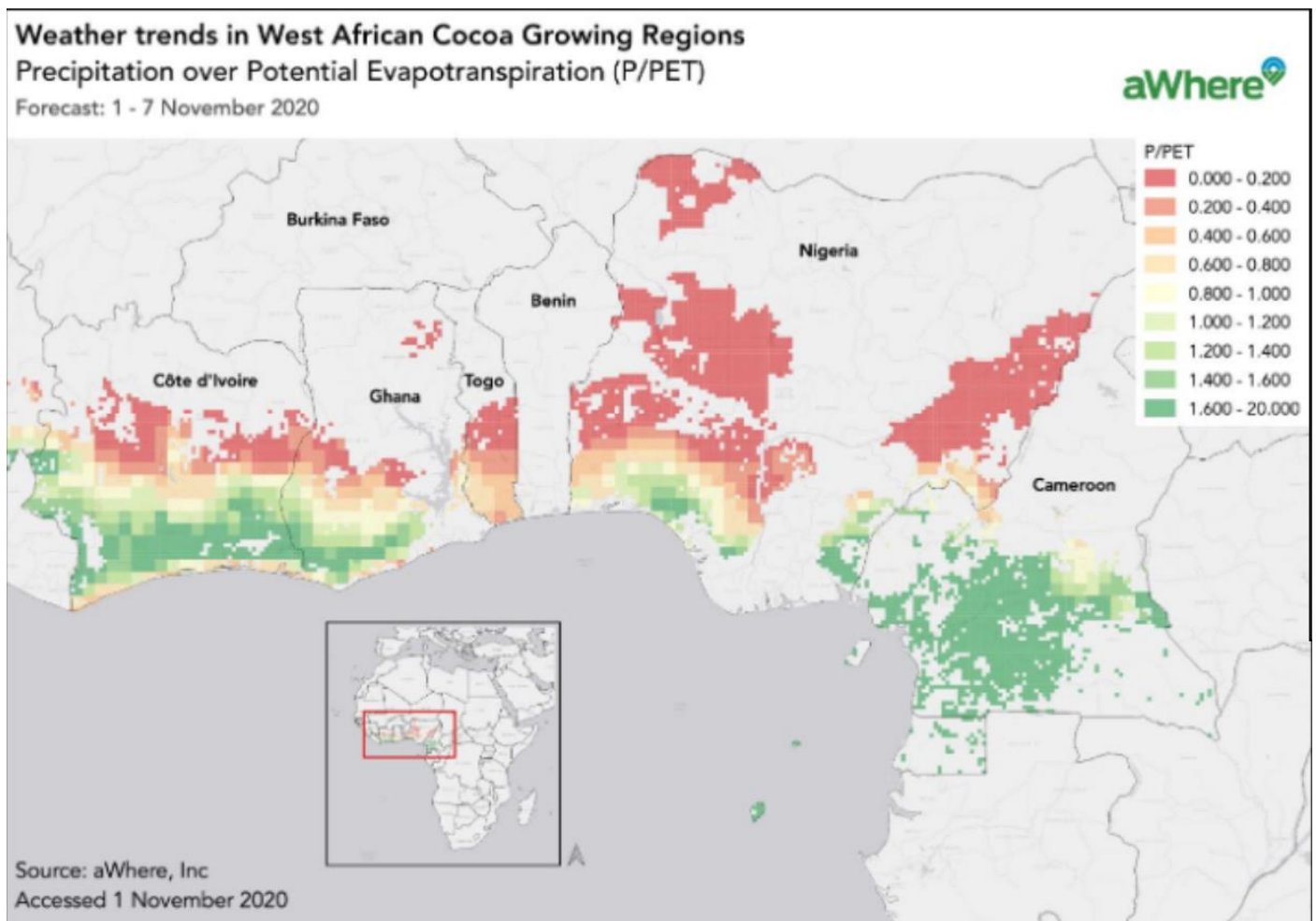
カメルーンでは、大雨により、国で2番目に高いカカオ生産地帯である中央地域(Central Region)の道路が通行不能になっていると、バフィア近郊のンゴロのカカオ生産者は述べた。

「カカオ生産者が農園に行き、農業の活動を行う方法は事実上ありませんでした」と彼は言いました。この雨による多くの下草につながり、Ntui、Makenene、Ngoroなどの中央地域でのブラックポッド病の再発の原因となる可能性が出てきている。

・ナイジェリアの収穫

南東部のイコム近くのヤウンデ村で農業を営むエニゲ・ティク氏は、収穫はこの1か月で大きく進んだと言った。

「カカオ農園には、まだ成熟したカカオポッドが沢山ついています」と、天気を理想的であると説明したティクは言いました。収穫のピークは12月初旬に予想されますが、その後もメインクロップは1月を超えてあたりまで可能性があると言いました。南西部の生産者もまた、先週、今シーズン初の良い収穫を報告しました。



\*P / PET は、降水量を地域の蒸発需要の比率として示しています。1未満の比率は、期間中の水分不足を示し、数値が低いほど、作物へのストレスが大きくなります。地図の引用《aWhere》

## 2. ガーナ産カカオ：新シーズン、10/22 までの港湾着荷数量は7万8068 トンに(11/9)

2020/2021 の新シーズンにおいて、ガーナのカカオ統括機関であるガーナココアボードが港湾倉庫にて検品して受け入れたカカオ豆の数量が10月22日までで78,068 トンとなった。昨年同時期では10月24日までの週で81,050 トンであった。ほぼ昨年同様の収穫数量でのスタートといえる。ガーナは世界第2位カカオ生産国で今シーズンは80万トン程度の生産数量を予測している。

## 3. GCB ココアグループ、英国に新工場の設立を発表(11/6)

マレーシアを本拠地とするカカオ磨砕業、及びチョコレート製造会社の会社 GCB ココアグループは、62.2 百万ポンド (=87 億円) の投資と 220 人の雇用の創出を約束して、英国の旧フィリップスエレクトロニクス工場の買収を発表。



同社は1980年代からカカオ豆のトレーディングをはじめ、1990年代にはマレーシアにカカオ加工工場を建設し加工業へ参入。着実に事業を拡大し、マレーシアの2工場とインドネシアの1工場に加え、現在コートジボアールのサンペドロに新たにカカオ加工工場を建設中である。今回の英国工場は、コートジボアール工場での製品を販売する為の販売拠点的な意味合いでも捉えられており、GCB グループの欧州の拠点として考えられている。(写真は、今回の買収案件関係者、右から2番目が GCB COCOA の Khai Vualman)

## 4. コートジボワールの10月26ー11月1日週のカカオ豆の到着数量は8万8,781 トン(11/3)

政府筋の統計資料に詳しい人物によると、コートジボワールの農家は、先週、88,781 トンのカカオ豆を港湾倉庫に送り込んだと報告された。1年前の同じ週との比較では、前年は推定75,092 トンであり、昨年より多い数字。政府のデータによると、今年のシーズンが10月1日から始まってから11月1日までの総到着数は現在まで414,304 トンで昨年は360,053 トンで昨年を50,000 トン程、上回るハイペースで着荷が進んでいる。

下記の数量は、コートジボアール内で、オラムインターナショナルとカーギルのユニットなど世界大手カカオ磨砕業者であり、最大の買い手の企業群の上社の6社の購入数量を示したものである。期間は10月1日から18日で購入数量の単位はトン。

会社名	購入数量 (t)
カーギル	60,122
アウトスパン (Olam)	57,009
Saco 社	51,417
Touton 社	27,750
SUCDEN	26,622
その他企業	191,384
合計	414,304

#### 5. ファンド勢のロンドンカカオ先物の買い越しが10週間ぶりの低水準へ (11/7)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) が今週、純買いポジションを2,628ロット減らして、純買い越し残ポジションが10週間ぶりの低水準となる1,775ロットとなったことがICE欧州先物取引所が発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで (今週で言えば) 11月3日までの取引が含まれている。

- 純買いポジションの数量は過去10週で最も弱気 (最も少ない)
- 買いポジションの総量は11月3日までで前週より1,720ロット減少して、13,312ロットとなった。買いポジションの総数量では、過去11週で最も低い水準になった。
- 売りポジションの総量は11月3日までで、前週より908ロット増加して、11,537ロットとなった。売りポジションの総量は過去2か月で一番高い水準。

#### 6. NY市場のファンド勢も買い越しポジションは11週間ぶりの低水準に (11/7)

ニューヨークカカオ先物市場において、これまでのヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) の買い越しポジション (Bullish=牛の角が上に上がっていることから、買いが売りよりも強い状態を示す) がついに反転して、売り越しポジション (Bearish=熊の角が下を向いている事より、売りが買いよりも強い状態を示す) へと転換した。売りポジションが、買いポジションよりも1,132ロット上回り、純売りポジション (=Net short position) となっている。

- 先週は、13,798ロットの純買いポジション (=買いポジション総量-売りポジションの総量)
- 純売りポジションは、過去14週間で最も弱気な状態
- 買いポジションの総量は11月3日までで前週より7,861ロット減少して、28,964ロットとなった。買いポジションの総量の少なさは、6か月ぶりの低水準。
- 売りポジションの総量は11月3日までで前週より7,069ロット増加して、30,096ロットとなった。売りポジションの総量は過去3か月で一番高い水準にきている。

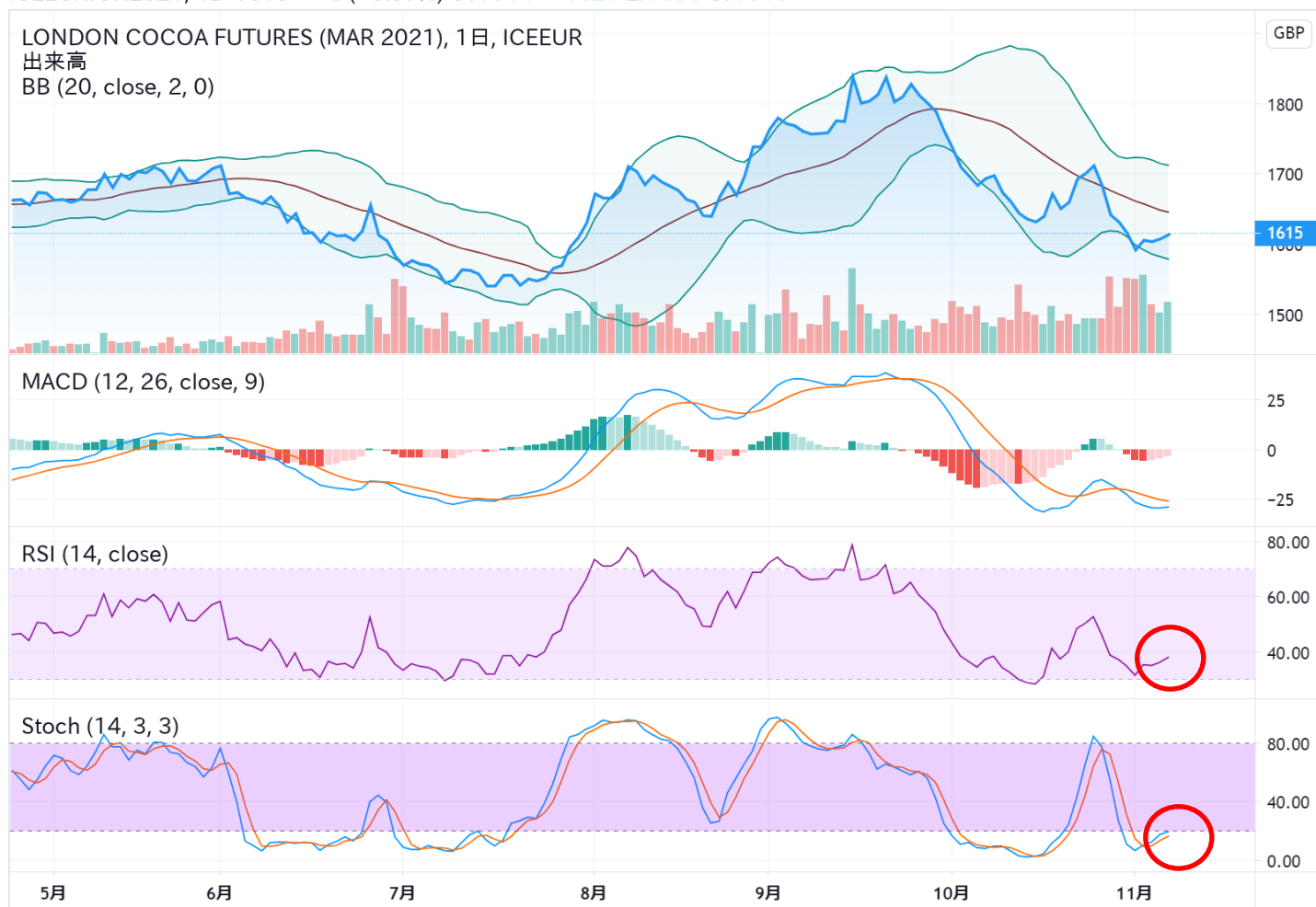
## 7. 先物市場の価格動向分析：2021年3月期ロンドン及びニューヨーク（11/9）

ロンドン 2021年3月限月チャート：**小さいトレンドの転換で少し上向きに動き始めるムードあり**

21年3月限月は、11月2日に1590を割り込んでからは一進一退だが、チャートのトレンド変換のシグナルを示している為、少しリバウンドして、10月26日に付けている1710付近を目指す展開になる雰囲気が出てきている。チャートのトレンド転換のシグナルとしては下記の図表の**赤丸**を参照願いたい。

この1年の値動きを見ると、ロンドンカカオ21年3月はGBP1550~1750の間でほとんど取引されていると分析できる。実需が弱く、供給量が豊作の中では、このレンジ自体が下がるはずだか、株式市場の動きなどを見ると金融関連の値動きは必ずしも実体経済を示してはおらず、当面このGBP1550~1770レンジはまだ妥当なレベルとして捉えておく必要はあると考える。ロンドンカカオではもう一つ、英国ポンドの値動きが重要なファクターになっている。通貨の変動に応じて、ロンドンカカオの値段も是正される動きを見せる為、細かい相場の値動きは英国ポンド/米国ドルの値動きの影響を反映しているにすぎない場合も多い。

Cacao-wataru TradingView.com で公開, 11月09, 2020 22:37:01 JST  
ICEEUR:CH2021, 1D 1615 ▲+6 (+0.37%) O:1614 H:1627 L:1606 C:1615



TradingView

ニューヨーク 2021年3月限月チャート：**NYはかなり明確なトレンド転換のシグナルあり。上昇する傾向。**

21年3月限月は、11月2日にUSD2250を割り込んでからは一進一退だが、わずかではあるが徐々に価格が上がってきている。チャートのトレンド変換のシグナルをかなり明確に示している為、少しリバウンドして、10月26日に付けているUSD2,485付近を目指す展開になると予測する。チャートのトレンド転換のシグナルとしては下記の図表の**赤丸**を参照願いたい。

この1年の値動きを見ると、21年3月 NY カカオはUSD2200~2500 の間でほとんど取引されていると分析できる。実需が弱く、供給量が豊作の中では、このレンジ自体が下がるはずだか、株式市場の動きなどを見ていると金融関連の値動きは必ずしも実体経済を示してはならず、当面このUSD2200-2500 のレンジはまだ妥当なレベルとして捉えておく必要はあると考える。

Cacao-wataru TradingView.com で公開, 11月 09, 2020 22:48:17 JST  
ICEUS\_DLY:CCH2021, D 2406 ▲ +68 (+2.91%) O: 2340 H: 2424 L: 2332 C: 2406



TradingView

## 8. “強制労働の無いカカオ生産” 目指すチョコレート、有楽町マルイにオランダ「トニーズ・チョコロンリー」ポップアップショップ (11/6)



国分グループ本社は、トニーズ社の国内正規代理店として、トニーズ社のチョコレート製品の長期的な育成を図っていく。発売1年目は丸井グループと連携してブランド認知を高め、来秋以降、輸入食品専門店など一般チャネルへ配荷を拡大する。「既存のチョコレート製品を否定するわけではないが、トニーズ社がチョコレート業界の不条理に挑戦する姿勢と、その思いや取り組みを日本の皆さまに伝えたいという丸井グループの熱意に共感した。当社が推進するSDGsの取り組みにも合致する商品であり、長期的に日本市場へ根付かせていきたい」（国分グループ本社マーケティング統括部マーケティング開発部長・高橋典裕氏）。

今後の取り組みとしては、丸井グループの資本業務提携先、BASEのプラットフォームを活用したオンライン販売を行うほか、トニーズ社の世界観を表現したフラッグシップショップの展開を検討していく。

#### 〈「トニーズ・チョコロンリー」ポップアップショップ概要〉

- ・営業期間:2020年11月5日(木)~2020年11月30日(月)
- ・営業時間:11時~20時30分(当面の間)・所在地:〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-7-1 有楽町マルイ1F

本件のプレスリリース : <https://www.kokubu.co.jp/news/file/download/2838>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)